
仮面ライダーR 希望と絶望の仮面

ゼロアーク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーR 希望と絶望の仮面

【Nコード】

N7994P

【作者名】

ゼロアーク

【あらすじ】

それは二つの世界の仮面ライダーの物語の終幕から始まる物語。希望を繋いで散った偽りの仮面ライダーは絶望を抱いて散った仮面ライダーの世界へと渡る。(初の携帯電話からの投稿作品です。短めで更新は稀になります。)

プロローグ『希望と絶望の終わり』

それは二つの世界で行われた二人の仮面ライダーの物語。

それは希望と絶望、二つの正反対のものを綴った物語。

それは希望の物語。

一つ世界で行われていたのは、異世界の英雄の力を使い世界を支配し、恒久的な平和を作り上げると言う理想を挙げる組織『PPPP^{ピースキューレピック}』と自らを名乗った組織と、組織によって生み出されながら、ある運命の悪戯によって組織と戦う道を歩く事になった一人の偽りの仮面ライダーの決戦。

PPPPは異世界に存在する英雄達、『仮面ライダー』達の力と記憶を宿した『ライダーメモリ』と『ライダーメダル』の力を使い、仮面ライダーの存在しない世界に仮面ライダー達を生み出し始めた。だが、それは本来の意味とは違う、組織の為の世界を支配する為の力としての負の仮面ライダー。

だが、そんなライダー達の中、ただ一人だけ、『戦いを止める為に戦い続けた者』『仮面ライダー龍騎』の力だけは組織の中には現れず、組織の手から離れ、真の仮面ライダーとして誕生した。

ライダー同士の戦いを止める為に戦い続けた仮面ライダーの力と意思は、偽りとは言え、世界を護るためとは言え、仮面ライダー同士で戦いに使われたのはなんと皮肉な事だろう。

そして、龍騎の力を得て偽りの仮面ライダーとなった少年と偽りの仮面ライダー達の戦いは最後の戦いを経て終わりを告げようとしていた。

『リュウキ　マキシマムドライブ！　ーファイナルベント！ー』

響き渡るのは龍騎の力を宿したライダーメモリの電子音。

偽りの龍騎は空高く舞い上がり、背後に龍騎の契約モンスター『ドラグレッダー』が召喚され、ドラグレッダーの撃ち出した炎を纏った飛び蹴り『ドラゴンライダーキック』を目の前に存在する巨大な炎の体を持つライダー『仮面ライダーコア』へと放つ。

「これで終わりだ！」

そんな叫び声と共にドラゴンライダーキックを放つ、偽りの龍騎…

『仮面ライダーR龍騎』。

その一撃によって長かった戦いがこれで終わる。

放たれたR龍騎の必殺の一撃はコアを撃ち抜くが、同時にコアを飲み込んだ爆風はR龍騎さえも巻き込んで燃え上がる。

「くっそお…。(ここまでののか、オレは?)」

コアの消滅とPPPの消滅だけを確信しながら、彼は全身を燃やす炎の熱を感じながら目を閉じる。
敵対したとは言え、R龍騎自身も偽りの仮面ライダーに代わり無い。だから、

『この世界に仮面ライダーは必要ない』

それは自身が何度も言っていた言葉が自分に返って来ただけの事なのだから……

(悪い、みんな)

彼が思い浮かべるのはPPPとの戦いの中で出会い犠牲になった者達の事。

(オレもそつちに……)。

全てを言い切る前にR龍騎の意識は消滅した。

組織『PPP』の最後の仮面ライダーであるコアの消滅によって組織によって産み出された全ての偽りの仮面ライダーは消滅した。

だが、それは残酷にも世界を護ろうとしていた者さえも消し去ってしまったのだった。

だが、一人の仮面ライダーが未来へと繋いだ『希望』は確かに繋がっていく。

それはR龍騎にとって救いになったのだろうか？

それは絶望の物語

別の世界、そこでは『仮面ライダーオーズ　タトバコンボ』が無数の怪人達と戦っていた。

その場に在る怪人達は本来のオーズの敵である『グリード』でも、グリードが産み出した『ヤミー』では無かった。
『グロンギ』、『アンノウン』、『ミラーモンスター』、『オルフェノク』、『アンデッド』等、かつての平成ライダー達が戦って来た怪人達。

それに立ち向かうのは、仮面ライダーオーズ、ただ一人だけ。

オーズはただ一人無数の怪人達に向け『メダジャリバー』を振り、時にはコンボを変え、『ガタキリバコンボ』で一扫し、『ラトラーターコンボ』のスピードと爪で尻ぎ払い、『サゴーズコンボ』の重力操作で動きを止めた所で、剛力で叩き潰す。

その様は正に一騎当千。だが、例えオーズが独りで千の怪人を葬ろうと、敵は万に近い数の怪人達。

負担が大きいコンボの連続使用によってオーズの体には限界が近づいていたのだ。

(オレは何の為に…戦っているんだろうな。)

そんな事を思いながらオーズは怪人の群にメダジャリバーによる必殺技を何度も放つ。

(勝った所でオレに何が残る?)

自身にとって解りきった答えだが、その答えは今のオーズの心を折るには十分すぎた。

彼は裏切られた。世界からも、仲間からも、大切な人達からも。

(何でここまで辛い思いをしなきゃならない。)

最後の一体となった怪人達の群の中のボスと思われる怪人と戦いながら、オーズは

(ここでオレが負けたら、楽になる。世界もあいつ等もこいつ等が滅ぼしてくれる。)

それは闇の中で見た『白い闇』

闇の誘惑は今のオーズには魅力的に映っていた。

(そうだ。こうすれば楽になる。)

剣を降ろし怪人の一撃はオーズの体を刺し貫く。

(ああ、これで楽になる。)

そう思うと、その痛みも心地好い。

そう思ったオーズの視界の端に“裏切り者達”の姿が映る。

泣きながら告げられる“大切だった”少女達の言葉はオーズには聞こえない。

だが、

オーズは彼女達を振り払いメダジャリバーにセルメダルをセットし、

『トリプルスキヤニングチャージ！』

最後の必殺技をオーズドライバーに突き刺す。

そして、

「オレはお前達を許さない！　これでオーズも、バースも、あいつ等に対抗する力は無くなった！　滅びるんだよ、世界は！
アツハハハ！　滅べばいい！　呪われる！　苦しみながら、死んでいけ！！！」

世界を呪った英雄の呪詛と共に彼は散った。

だが、彼女達は自らの罪を理解していた。

だから、許して貰えなくても、ただ一言だけ、彼に謝りたかった。

だが、彼にはそんな言葉も届かず、彼女達を、世界を呪いながら散った。

謝罪も告げる事もできず、彼は居なくなった。

世界を呪い、絶望の中で散った。

それが絶望の物語の結末。

こうして希望と絶望の物語はそれぞれの結末を迎えた。

仮面ライダーR龍騎と仮面ライダーオーズだった者の名は『あまなぎ天凾
そつま総麻』

二つの平行世界パラレルワールド上の同一人物で有り、正反対の結末を迎えた者。

全ては此処から始まる。

設定（R編）（前書き）

仮面ライダーR龍騎と敵組織の『PPP』の設定です。

設定（R編）

『仮面ライダーR』

主人公が『仮面ライダーの記憶』を宿したライダーメダルとライダーメモリを使い変身する。

メダルとメモリを使う事で他のライダーにも変身できるが、『本来の姿』が無い為、すべての変身した状態を総称して『仮面ライダーR』と言う。

普段は『仮面ライダーR龍騎』を名乗る。

龍騎のメダルとメモリを拾いその二つの記憶を使い『Rドライバー』のバックル部分にライダーのメダルを装填、横の部分にあるスロットにメモリを差し込む事で変身する。

『ヒースキュービック
PPPP』

Rと戦った組織。異世界の英雄の力を使い世界を支配し、恒久的な平和を作り上げると言う理想を掲げている。

一般構成員が『ライオトルーパー』または『オルタナティブ』のメダルかメモリを所持している。

上級構成員がクウガからディケイド除く仮面ライダーのメモリとメダルを所持し量産タイプのドライバー『フェイクドライバー』を使い仮面ライダーの姿を模した姿『Fライダー^{フェイク}』の姿に変身できる。

（フェイクライダー達が怪人）

また、仮面ライダーに変身する上級構成員はRクラスと呼ばれている。

『ラウンド・ナイツ』

『PPPP』の9人から構成される最高幹部。年齢、性別、職業は関係なく、世界を象徴するライダーの記憶を操る者達で構成されている。

る。

クウガからデイケイド（龍騎）を除く九人の仮面ライダー達の記憶を宿したメモリとメダルを持ち、上位タイプのドライバーである『^{イミテーション}イドドライバー』を使い、『^{イミテーション}エライダー』に変身する。

また、総麻のＲドライダーはイドドライバーの上位タイプであり、ライダー達のメダルとメモリを使う事で他のライダーにも変身できる他、メモリを付け替える事で他のライダーに変身せずに一部の能力も使うことができる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7994p/>

仮面ライダーR 希望と絶望の仮面

2011年1月3日23時41分発行